

暮らしの コーディネート ～第4回～

三世代同居のコツ

子育てや介護が社会的問題となっている近年、三世代同居や近居をすることによって世代間で助け合い、安心して暮らせる環境づくりが注目されています。今回は三世代同居に焦点を当て、メリットや今後の展望について考えてみましょう。

協力し合える 安心感

東日本大震災以降、改めて家族の絆を大事に考える人が増え、三世代同居を検討するご家庭が多くなつたといわれます。国土交通省が、三世代同居住宅の整備に対する支援を受けた世帯を対象にアンケートを実施。それによると、同居を考えた理由のトップは「何かあった時に助け合えるから」という回答でした。子世帯のニーズである「家事・育児の協力」という回答も上位に上がっていて、親世帯が子（孫）育てをサポートするなど相互で協力している状況が伺えます。三世代同居や近居は国の

三世代同居を考えた理由は？

単位：件／有効回答数：
リフォーム68、新築509 複数回答可

	リフォーム	新築
何かあった時に助け合えるから	11	101
育児の協力を考えて	8	72
相続時の経済的負担が小さいから	8	11
親の老後を考えて	7	85
住宅取得時の経済的負担が小さいから	7	18
家事の協力を考えて	6	53
日常生活の経済的負担が小さいから	6	38
就職・転職・転勤などに対応するため	3	6
通勤・通学などに便利だから	1	10
共働きをするため	1	34

国土交通省住宅局住宅生産課 「平成29年度地域型住宅グリーン化事業 グループ採択結果」より

重要なテーマとしても掲げられており、そのニーズは今後ますます高まるのではないのでしょうか。

ほどよい距離感も 同居には大切

同居で重要なのは「適度な距離感」です。基本的な日常生活はそれぞれ別々にし、自分たちのペースで暮らせる配慮が必要です。特に食事については時間や食の好みが世帯で違うことも多いので、それぞれの世帯にキッチンを設置するケースも増えていきます。その一方で、家族のコミュニケーションンづくりも同居には欠かせないもの。ゆったりとしたリビング



コンパクトなセカンドキッチンがあれば、自分たちのペースで食事が楽しめます。

ダイニングを設け、休日の団らんを楽しんでいるようです。

三世代同居対応改修工事は減税対象になります。リフォームをお悩みのお客様にとっては決断のきっかけの一つになるかもしれません。ほどよい距離を保ちながらも、家族だからこそ頼り合える関係が築ける住まいづくりもいいですね。